





#### 4 利用情報

4 利用情報							
	区分・単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
利用者	年間利用人数(人) a	594	46.6%	785	132.2%	639	81.4%
	年間運営日数(日) b	359	100.0%	360	100.3%	359	99.7%
	うち利用日数(日)	359	145.9%	360	100.3%	359	99.7%
	1日あたり利用者数(人) a/b	1.7	48.6%	2.2	129.4%	1.8	81.8%

年間利用人数の推移(単位:人)

年度	年間利用人数(人)
平成30年度	594
令和元年度	785
令和2年度	639

1日あたりの利用者数の比較(単位:人)

年度	歌支館	平均値
平成30年度	1.7	~1.7
令和元年度	2.2	~2.2
令和2年度	1.8	~1.8

平均値：同分類施設における1日あたり利用者数の平均

- ・ 1日あたり利用者数(人) a/b      運営日1日あたりの利用者としている。
- ・ グラフの縦の単位                同分類の他施設と比較しやすくするため、分類単位で表示を統一している。
- ・ グラフの平均値                    分類単位で比較するため同分類の平均値である。



## 6 収支情報

6 収支情報							
	区分・単位	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		実績(千円)	前年比	実績(千円)	前年比	実績(千円)	前年比
収入	国庫支出金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	料金	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他の経常的収入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	収入 合計 A	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出	人件費 ※実働時間から計算した数値	240	240.0%	240	100.0%	240	100.0%
	備用費(光熱水費、修繕費等)	70	50.7%	4	5.7%	417	10425.0%
	役務費(通信料、広告料、保険料等)	65	197.0%	65	100.0%	65	100.0%
	委託料(指定管理料以外)	1,250	51.7%	1,442	115.4%	1,208	83.8%
	委託料(指定管理料)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	使用料及び賃借料	78	312.0%	101	129.5%	65	64.4%
	その他の経常的経費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	支出 合計 B	1,703	4.1%	1,852	108.7%	1,995	107.7%
支出-収入(一般財源)B-A	1,702	4.8%	1,852	108.8%	1,995	107.7%	
経費に占める収入の割合A/B	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	
1㎡あたりの維持管理費 B/延床面積	4.5	17.6%	4.9	108.9%	5.2	106.1%	
1㎡あたりの市負担額 (B-A)/延床面積	4.5	20.7%	4.9	108.9%	5.2	106.1%	

経常的な収支について記載しており、一般的にどのくらいの管理経費が必要なのか比較できるように記載した。

大規模修繕などの臨時的な支出を除外している。

- ・収入の「料金」 施設の使用料である。  
指定管理の施設は、指定管理者が収支を管理できる制度であり、本カルテに記載しない場合がある。
- ・1㎡あたりの・・・ 建物が中心の施設は、1㎡あたりの額を記載している。  
公園やグラウンド類は、1haあたりの額としている。

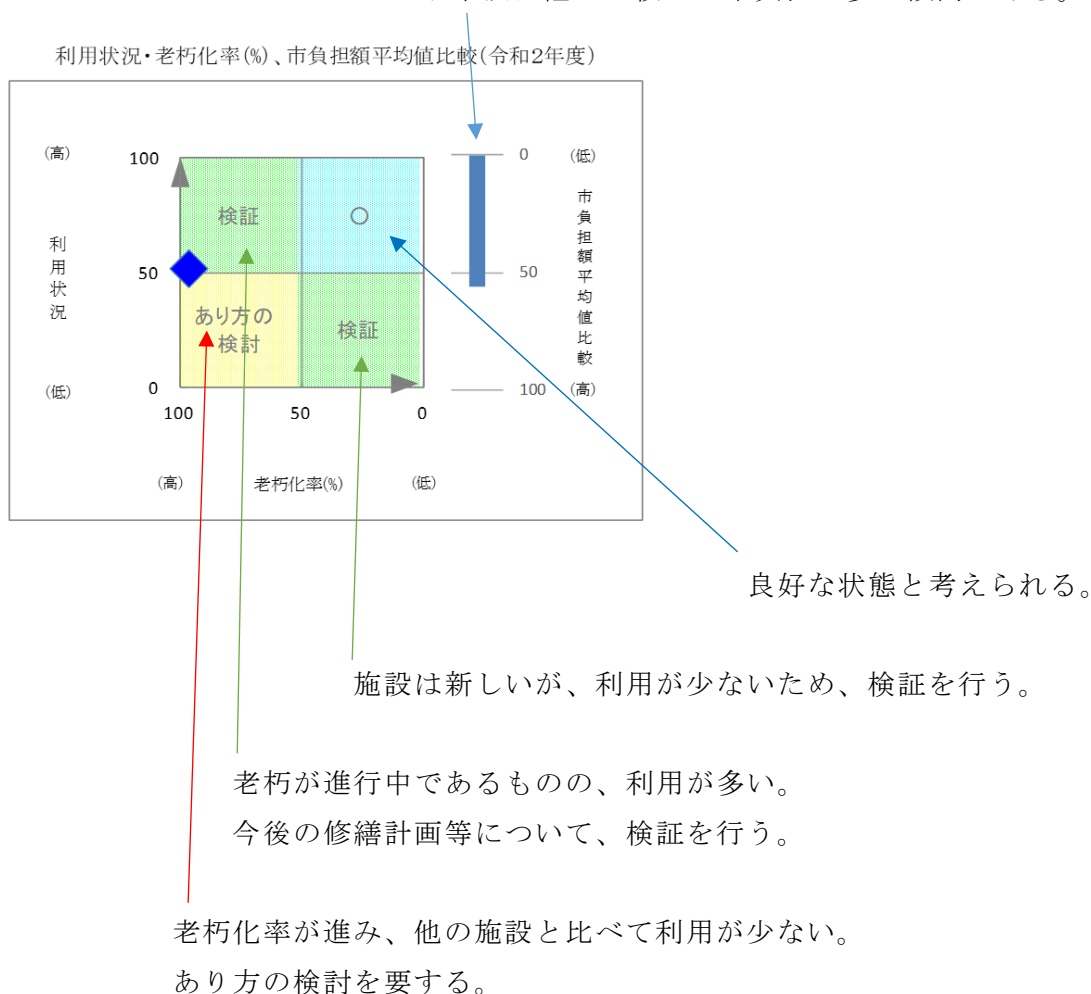
## 7 情報分析

カルテの情報を分析しやすくするため、マトリクス図で視覚化した。

- ・老朽化率 「5建物情報」の老朽化率である。
- ・利用状況 施設ごとに条件が異なるため、比較が難しい。  
よって、目安として、利用日数や1日当たりの利用者数を基にして算出した複数の数値を平均するなど、複数の数値を利用している。  
特徴に合わせ、分類ごとに同じ方法で算出している。

市負担額平均値比較は、必要な市負担額について、同じ分類で比較する「偏差値」として表している。

50より上段は他と比較して市負担が少なく、  
50より下段は他と比較して市負担が多い傾向にある。



上記の例は、市負担額も他の施設と比べて高くなっている。  
また、老朽化が特に進んでいて、利用状況が他の施設よりも少ないことから「あり方を検証すべき施設」と言える。